

エコ〜つつうしん

平成21年(2009)5月14日 編集発行：出雲市役所環境保全課 (TEL21-6535 FAX21-6597)

本年度最初の環境新聞「エコ〜つつうしん第13号」です。本年度もエコ〜つつうしんをよろしく願います。

さて、緑がまぶしい季節となり、「緑のカーテン」の種まきにピッタリな季節となりました。

ある大手企業グループによると、「緑のカーテン」を設置した部屋とそうでない部屋では室温が6℃違うそうです。

「緑のカーテン」に向いているのはつる性の葉が密集する品種で、例えば、朝顔やへちまなどです。へちまやきゅうりを植えば収穫の楽しみもありますし、フウセンカズラを植えば、秋にハートマークのついたかわいい種を採ることが出来ます。

環境のことだけでなく、家庭での話題づくりのためにも「緑のカーテン」を作ってみてはいかがでしょうか。



ハートマークのついたフウセンカズラの種

環境特派員レポート

知恵を絞り住みよい町にするために「知恵袋の会」

平田地域の30代〜60代の女性8名で結成し、月1回の勉強会と実践活動をしながら今年10周年を迎える「知恵袋の会」(代表 長岡千代子)の会では、「日々分別しているゴミがどのようになるのか」などの疑問がわくと、それを知りたくて、ゴミ焼却場や不燃物処理場を訪ね、現場の作業員さんから説明を受けるなど積極的に勉強を積み重ねています。そして、意見交換などを通し、住民のごみ処理に関する意識や分別処理についての認識の低さを痛感すると、ゴミの処理や分別について学習し、意識向上と分別徹底のための啓発活動を行いました。

また、平田地域を流れる船川を少しでもきれいにしようと考え、家庭でできることは何か、話し合いました。汚濁の原因のひとつであるといわれる「米のとき汁」を排

段ボール箱でできる生ゴミ処理(PART2)

先日、今市コミュニティセンターで「段ボールによる生ゴミ処理」の講習会が開かれました。きっかけは、「広報いずも」(11月27日発行)の「エコ〜つつうしん」で段ボールの生ゴミ処理が紹介され、「大社友の会」の講習を受けた今市コミセンの環境部長の米原ゆきみさんが「今市の皆さんにも紹介したい!」という強い願いによるもの。参加されたのは今市コミュ

ニティセンターの環境部会と今市地区環境衛生組合の皆さん。講師には、暮らし全般についてお互い切磋琢磨している「大社友の会」の皆さんを招き、ゴミ減量の取り組み成果を発表していただきました。

友の会の活動成果はすばらしく、「生ゴミを入れてもあふれることがなく不思議」「ゴミ分別について意識が高くなり、ゴミ全体の量が減った」と参加者からは感想がありました。

最後に、ゴミ問題について、「分別するから出して良いという発想は卒業し、ゴミの絶対量

を減らすことが一番大事」と発表を締めくくられました。

もみがらくん炭とビートモスで簡単に、エネルギーも使わず、良質の堆肥ができる生ゴミ処理をやってみてはいかがでしょうか。ゴミの減量にうんと弾みがつくはずですよ。



発表会の様子

用途多彩な炭でエコライフ

洗剤を使わずきれいに磨こう

現在、炭の役割は燃料にとどまらず、浄水、消臭、脱臭、除湿から調理まで、実に幅広く私たちの生活に取り入れられ、その効果に驚かされています。

そこで今回は、それ以外の

利用方法として、炭でレンジ調理機などの焦げ付きを落とすアイデアをご紹介します。

使うのは、よく洗った白炭(代表的なものは備長炭。ガスレンジのしつこい焦げ付き部分に、少し水を付けた白炭をこすりつけて磨き落とし、あとは水拭きをするだけで洗剤はいりません。

また、これから夏にキャンプを考えている人にも炭はおす

すめです。調理などの燃料に使うだけでなく、こげてしまった調理器具をこすれば、焦げ付き落としに大活躍です。

環境にもやさしく、いろいろな場面で使われる炭でもっとエコな生活を楽しんでみませんか。

(山崎特派員)

水に流さないようするために、また、その有効活用のために「白水ぼかし」について勉強し、自ら作成し、それを市民に広げるためイベントなどで啓発を続けています。そして、今では、ぼかしの作り方について教えて欲しいという希望があれば出かけて作り方を伝えるなど、その輪を広げる活動をしています。

「ふれんどり祭」では、環境に関する発表や手作りの環境関連商品を販売し、多くの住民と意見交換を行い、その後の活動の「種」を得ています。



エコ〜な本の紹介です (山崎特派員)

「くずかごおぼけ」

作/せなけいこ 発行/童心社

嫌いな食べ物や壊れてしまったものを何でもくずかごに捨ててしまう女の子が、ある日くずかごの中に引きずり込まれてしまいました。捨てられたモノ達がおぼけになって訴える、ちょっと怖いお話です。



「ブーアの森」

絵/忍野清志郎 文/せがわきり 発行/TOKYO FM出版

ある日、主人公のしょうくんは森の中で木の精と「ブーア」という不思議な生き物に出会います。ところが町に来たブーアは酸性雨やゴミで汚れた池の水によって苦しんでしまいます。環境について考えさせられる一冊です。



協定参加事業者を募集します

レジ袋無料配布の中止の趣旨に賛同し、「出雲市におけるレジ袋削減に向けた取組に関する協定」の締結をしていただける事業者を募集します。

市のホームページに掲載している募集要領や協定内容をご確認のうえ、資源リサイクル課(☎21-6988)に申し込みください。



5月30日(土)は NO! レジ袋チャレンジャー

5月30日は、マイバッグ(エコバッグ)を持参して、レジ袋をもらわないようにしてみませんか。

出雲市では、今年7月からレジ袋削減に関する協定を締結した店舗でのレジ袋の無料配布を中止します。

レジ袋の削減を通して、一人でも多くの方に環境保全・保護活動に取り組んでいただきたいと思います。

皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

